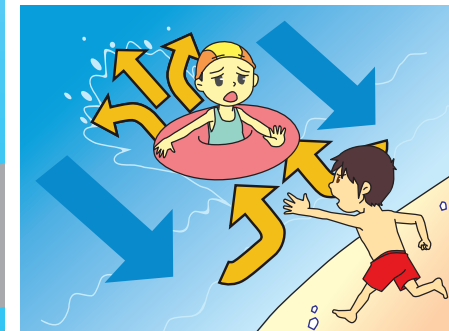


YMCAウォーターセーフティーキャンペーン

あなたは知らないうちに
こんな危ないことをしていませんか？

海で

夏になると、海や川に行ったり、水遊びをしたりすることが多くなります。しかし水の中は、陸上とは違って、ちょっとした不注意でケガをしたり、生命を失ったりすることがあります。この絵のお友だちはどうして危ないのでしょうか？みんなで考えてみよう。



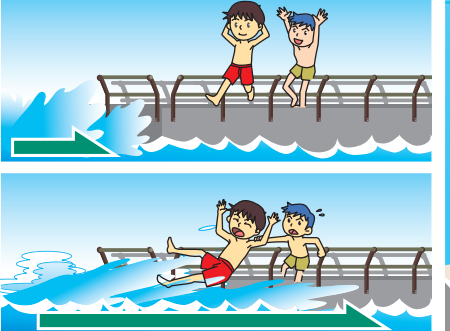
離岸流

岸から沖に向かって流れる水の流れ



逆潜流

岸によせてきた波が海底の傾斜に沿って沖に戻る水の流れ



潮汐

海水面が昇降する現象

海上における事件・事故の
緊急通報用電話番号は
「118番」(海上保安庁)

② 子どもだけでボートにのる



③ 足がつかないところで遊ぶ



④ 河口のそばで遊ぶ



健康チェック項目

- ☐ 熱はないか
- ☐ 風邪をひいていないか
- ☐ 疲れている様子はないか
- ☐ 食欲はあるか
- ☐ 顔色はよいか
- ☐ 目や耳の病気はないか
- ☐ 寝不足ではないか

楽しい水遊びが原因で病気になるって
しまわないよう、健康チェックを
済ませてから水遊びをする習慣を
つけましょう。



⑤ つきそいの大人の人から
遠くはなれたところへいく



自然災害(台風、地震、雷など)の
可能性があるときには、
水辺には近づかないようにしましょう。
注意報や警報が出ていないか、
その地域の避難場所は
どこかなどを確認してください。

川で

遊泳禁止
No Swimming
遊泳禁止場所、
遊泳禁止発令時は
泳がない

① 上流で局地的豪雨や
雷が鳴っている時に遊ぶ



② 川沿いの草が
おいしげっている
ところ遊ぶ



③ 川に流れてしまった
道具を追いかける

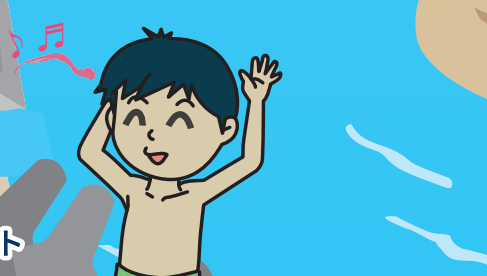


④ 大きな岩や石の上に乗る、
付近で遊ぶ、素足で遊ぶ



増水 天候や放流による急な
濁りや枝などが流出することで、
浸水や水没する現象

⑤ 中流や急流部、川底が
見えない場所に入って遊ぶ



⑥ 消波コンクリート
ブロックなどの
人工物のそばで遊ぶ



反転流 岩や障害物の下流側
などで発生し、渦のような
反対方向に流れる現象



川に倒れ込んだ木
大雨や強風などにより
流木などが倒れて危険



おぼれている人をみつけたらどうするの？

子どもたちだけでは助けない、水の中に入らない。

「おぼれている人」や「誤って水に
落ちてしまった人」を見つけたときの
対処法

① 119 番へ連絡しよう

連絡できたら指示を聞く。

連絡できない場合は、連絡できる人を探しに行く。

※携帯電話を持っている人に知らせましょう。



おぼれています!
119 番へ連絡
してください。

救急隊が到着するまでにできること

② 浮く物を投げる

浮く物がある場合は、お腹を目がけて投げ、つかまるように
指示する。



水に浮く物リスト

ペットボトル・ランドセル・くつ・ボール・ビニール袋 ◎他に何があるのか考えてみましょう。

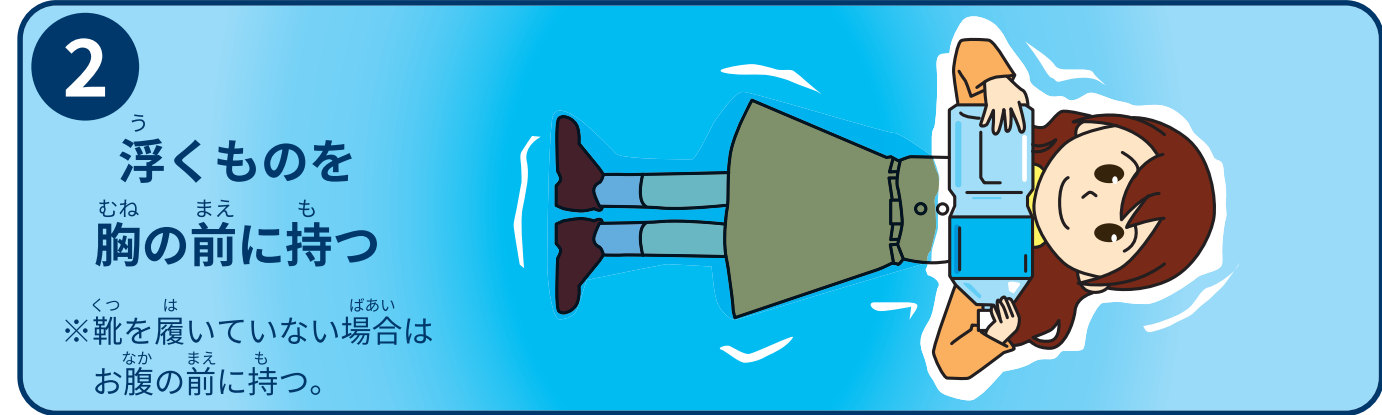
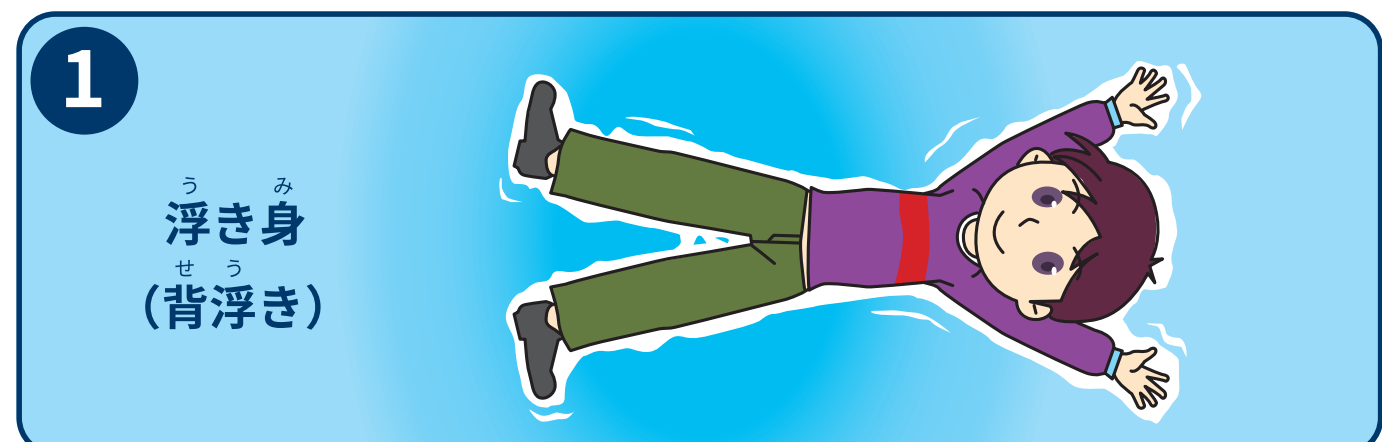
水に落ちたら落ち着いて浮き身の姿勢をとろう

大原則は
「浮いて、待とう!」

水の事故の多くは岸から3m以内でおきています。

それは誤って水に落ちたことによりパニックになってしまい、岸に戻りたくても戻れないからです。誤って水の中に落ちてしまったら、あわてて岸に戻ろうとするのではなく、まず落ち着いて浮き身(背浮き)の姿勢をとりましょう。

衣服や靴は着た状態の方が水に浮きやすい為、脱がないようにしましょう。



浮き身を上手につくるポイント

- おなかを上げる
- 手足をのばす
- 頭のうしろを水につける
- 全身の力を抜く